

環境調査ワーキンググループ 事業場及び周辺環境調査（第2回会合）

日時：平成17年6月17日（金）13：00～16：10

場所：県境不法投棄現場及びその周辺

参加者：梶本重幸、宇藤安貴子、北村岩勇、坂本廣、宮村純吉、穂積倉二 計6名（順不同、敬称略）

○青森県県境再生対策室現地事務所：須藤総括副参事・岩館総括主査

○現場事業者：田川廣昭氏（（株）袖村建設現場代理人）

提供資料：1 （参考資料）青森県水質モニタリング位置図（現場内）

2 （参考資料）岩手県事業場概要図

3 安全教育について（（株）袖村建設からの提供資料）

■ 討議事項：活動方針と今後の調査検討項目

現場状況を自分達目で確認・把握し、今後検討を要する点や両県に対して要望すべき点を確認する。

■ 説明内容と調査結果

1 現場事業者からの安全教育に関する説明（（株）袖村建設現場代理人 田川廣昭氏）

- ・毎朝作業前に30分程度のミーティングを行っている。
- ・作業場内にクリーンルームという部屋を設けており、現場内での作業での汚れを場外へ出さないようにしている。

2 環境及び作業状況調査

（1）場内環境及び場内作業状況について

- ・基本的には安全管理は評価できる。今後も場内での事故が決して起こる事のないよう引き続き安全を心がけてほしい。
- ・場内工事が予想以上に進んでいた。
- ・作業現場によっては毎朝作業前に血圧検査を行うところもある。この現場での導入も県に対して提案してみてもどうか。

（2）調査箇所

- ・田子町側現場全般
- ・岩手県側沢2から下流部（北側調整池付近）
- ・和平高原開発農場内ため池

3 場外環境及び場外作業状況について

- ・県道の搬出ルート上で修復が必要な箇所が増えた。
- ・誘導員を配置している交差点での走行について、誘導員がいるとはいえ一時停止箇所では停止しないことは問題。
- ・岩手県側の沢2（北側調整池付近）の県境部分に遮水壁が必要ではないか。今後も度々要望が必要か。

■ 要請要望事項・資料提供要求など

- ・搬出ルートとなっている県道脇の草木の刈り払いをこれまでの年1回から2回へ増やしてほしい。カーブなどで対向車が見えにくくなっている箇所がある。ヒヤリ・ハット「ワークショップ」を草木が伸びているこの時期に開催してほしい。
- ・県道に速度標識を増やしてほしい。
- ・工事用車両の走行スピードが速すぎるので、工程会議などで業者に対して指導していただきたい。
- ・住民に場内工事の進捗状況が伝わりにくいので、この点の情報公開にも力を入れてほしい。

■ 次回開催予定及び日程

次回開催予定日 7月15日（金）19：00～ 役場第一会議室